



学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

心が温まるかけがえのない時間が流れていました。

昨日は4年生の「二分の一成人式」、そして6年生との「お別れ集会」がありました。

本校では、それぞれの該当学年だけでなく、全学年児童及び全学年の保護者の皆様にご参加いただき、皆さんに見守られながら開催しています。

『二分の一成人式』

「二分の一成人式」では、幼い頃の写真を見て、この10年を振り返りながら、力強く自分の夢を発表し、誓いの言葉を述べました。その後、保護者への感謝の気持ちを表した手紙を読みあげ、お母さんからも子どもへのメッセージが伝えられました。



どちらも心のこもった温かなもので胸を打つ素晴らしいものでした。

どのご家庭でも、親と子、互いに相手を愛し大切に思っている、そしてまた感謝の気持ちを持っていても普段はそのことをなかなか言葉にして伝える機会はないことが多いのではないのでしょうか。このような機会をきっかけに各ご家庭でも、互いの気持ちを明確な言葉にして伝え合ってみられてはいかがでしょうか？

子ども達にとって長い長い人生の節目の一つです。家族を始め、自分の成長を支え、関わってくださった全ての人々に対する感謝の気持ちを持ちながら、これからの更なる成長と自立を目指して新たな一歩をふみ出してくれることでしょう。ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

『お別れ集会』 ～ありがとう、6年生～



お別れ集会では、これまでお世話になった5名の6年生のために5年生以下の在校生が企画・運営を行い、1・2年生、そして3～5年生の出し物やプレゼントの贈呈、6年生からのお返しのおし物等がありました。



どれも楽しく、心が温かくなるようなものばかりで感心しました。特に在校生の出し物は、6年生に楽しんでもらいたい、笑顔になってもらいたいという気持ちがこもっていたように思います。

また、校旗伝承式では6年生の裕也さんから、5年生へと思いが託され、彩葉さんが力強く引き継ぎました。今年度の6年生同様に神浦小学校の伝統を守り、校風を引き継ぎ、素晴らしい学校を創ってくれると思います。素敵に輝いている翔さん、あゆみさん、裕也さん、貴雄さん、菜々美さん、ご苦労様、そしてありがとう。

かけがえのない時間。それは宝物

神浦小学校で過ごした時間。6年生と共に過ごした時間は「かけがえのない時間であり、大切な宝物」です。その「かけがえのない時間」。それは単なる「時間」という意味ではありません。出会えたこと、そして互いに関わり合いつって来た様々で濃密な思い出であり、共に過ごしてきた「互いの繋がり」、「絆」のことです。一日一日はどんどん過ぎていきます。共に過ごす残された日々はわずかになりました。6年生も、在校生も残されたかけがえのない日を「精一杯悔いなく、楽しく過ごせた」と思えるような毎日にしてほしいと思います。